

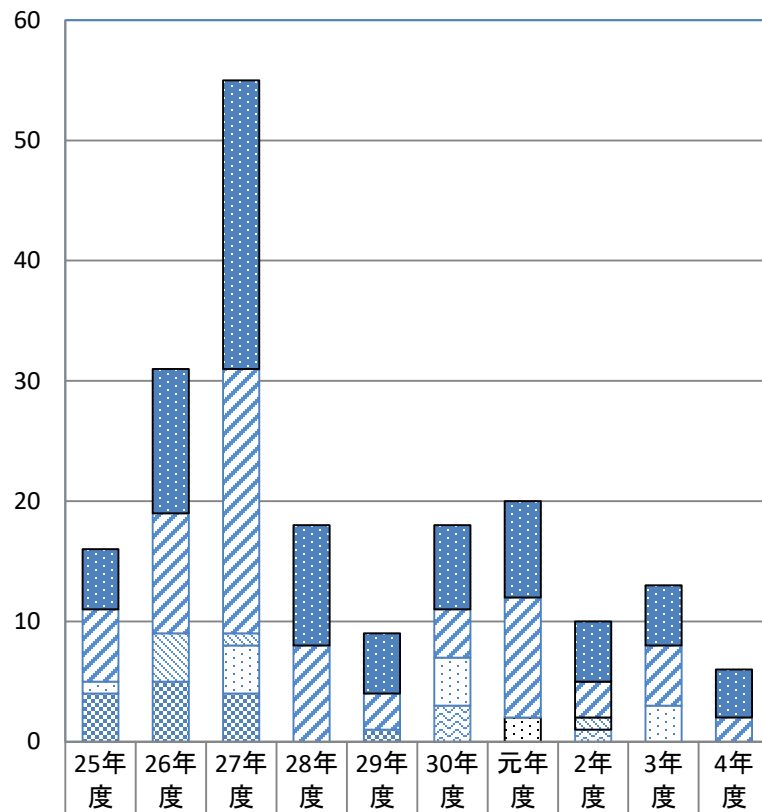
# 東京都胎児救急搬送システムによる搬送事例の状況

平成25年11月1日から令和5年3月31日報告受理分 196件

## 1 要請理由

○ 常位胎盤早期剥離、早産期の胎児機能不全を要請理由としたものが、約8割であった。

n=196 (母体)



	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
総計	16	31	55	18	9	18	20	10	13	6
■ 常位胎盤早期剥離	5	12	24	10	5	7	8	5	5	4
▨ 早産期の胎児機能不全	6	10	22	8	3	4	10	3	5	2
▩ 常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		4	1					1		
▧ 正産期の胎児機能不全	1		4			4	2		3	
▤ その他						3		1		
▦ 無記入	4	5	4		1					

## 2 要請理由別搬送元施設と受入先施設

- 全体では総合周産期母子医療センターが155件（79.1%）、地域周産期母子医療センターが33件（16.8%）、周産期連携病院が8件（4.1%）だった。
- 搬送依頼元は診療所が97件（49.5%）、病院が64件（32.7%）だった。
- ブロック内の総合周産期母子医療センターでの受け入れは、全体で125件（63.8%）だった。

n=196（母体）

要請理由	依頼元施設 受入先施設	総計	搬送元施設					助産所
			総合周産期母子医療センター	地域周産期母子医療センター	周産期連携病院	病院	診療所	
常位胎盤早期剥離	総計	85	2		4	24	55	
	総合周産期母子医療センター	63	1		4	20	38	
	地域周産期母子医療センター	19	1			4	14	
	周産期連携病院	3					3	
早産期の胎児機能不全	総計	73	9	9	7	26	22	
	総合周産期母子医療センター	61	8	8	7	20	18	
	地域周産期母子医療センター	10	1	1		5	3	
	周産期連携病院	2				1	1	
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計	6				3	3	
	総合周産期母子医療センター	5				2	3	
	地域周産期母子医療センター	1				1		
	周産期連携病院	0						
正期産の胎児機能不全	総計	14				1	10	3
	総合周産期母子医療センター	11				1	7	3
	地域周産期母子医療センター	2					2	
	周産期連携病院	1					1	
その他(4)・無記入	総計	18			1	10	7	
	総合周産期母子医療センター	15				9	6	
	地域周産期母子医療センター	1			1			
	周産期連携病院	2				1	1	
合計	総計	196	11	9	12	64	97	3
	総合周産期母子医療センター	155	9	8	11	52	72	3
	地域周産期母子医療センター	33	2	1	1	10	19	0
	周産期連携病院	8	0	0	0	2	6	0

### ○ 要請理由別 受入先施設

要請理由	受入施設		総合周産期母子医療センター		地域周産期母子医療センター		周産期連携病院		合計	
	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外	ブロック内	ブロック外
常位胎盤早期剥離	53	10	16	3	3				72	13
早産期の胎児機能不全	44	17	7	3	1	1			52	21
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	4	1	1						5	1
正期産の胎児機能不全	9	2	1	1	1				11	3
その他(4)・無記入	15			1	2				17	1
合計	125	30	25	8	7	1			157	39

### 3 要請理由別搬送元地域（ブロック）と受入先地域（ブロック）

○ 全体では80.1%がブロック内の医療機関で受け入れられていた。  
早産期の胎児機能不全では、28.8%がブロック外での受入だった。

n=196（母体）

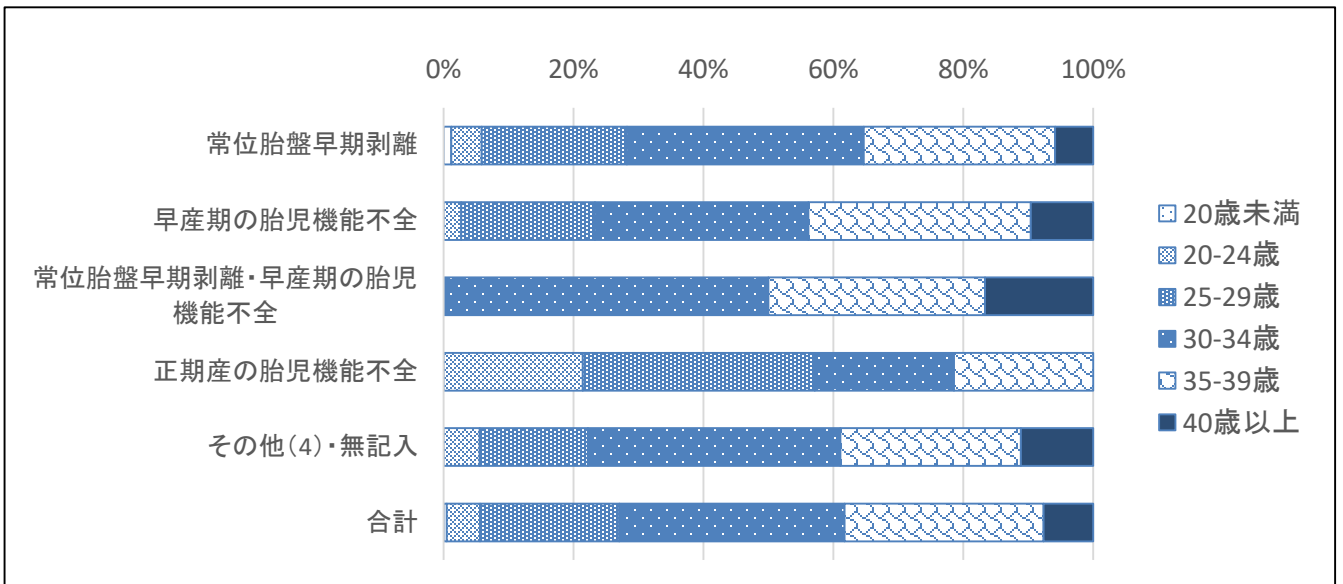
要請理由	依頼元地域		総計	区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部	多摩地域
	受入先地域										
常位胎盤早期剥離	総計		85	3	2	23	3	7	19	20	8
	区中央部		8	3	1			1	2	1	
	区南部		0								
	区西南部		24		1	22				1	
	区西部		4			1	3				
	区西北部		5					5			
	区東北部		14						14		
	区東部		21					1	3	17	
	多摩地域		9								1
早産期の胎児機能不全	総計		73	3	3	13	6	5	7	12	24
	区中央部		5	3		1	1				
	区南部		4		1	2					1
	区西南部		19		2	10	3	1			3
	区西部		2				1				1
	区西北部		4					3	1		
	区東北部		4					1	3		
	区東部		15						3	12	
	多摩地域		20				1				
常位胎盤早期剥離+早産期の胎児機能不全	総計		6			1	1	1	1	2	
	区中央部		0								
	区南部		0								
	区西南部		1			1					
	区西部		1				1				
	区西北部		0								
	区東北部		2					1	1		
	区東部		2							2	
	多摩地域		0								
その他	総計		32	3	1	4	1	5	2	4	12
	区中央部		1	1							
	区南部		1		1						
	区西南部		5	1		4					
	区西部		2				1				1
	区西北部		6	1				5			
	区東北部		3						2	1	
	区東部		3							3	
	多摩地域		11								
合計	総計		196	9	6	41	11	18	29	38	44
	区中央部		14	7	1	1	1	1	2	1	0
	区南部		5		2	2					1
	区西南部		49	1	3	37	3	1		1	3
	区西部		9			1	6				2
	区西北部		15	1				13	1		0
	区東北部		23					2	20	1	0
	区東部		41					1	6	34	0
	多摩地域		40				1			1	38

#### 4 母の年齢

- 全体では35歳未満が121人（61.7%）と多く、35歳以上は75人（38.3%）  
 常位胎盤早期剥離は35歳未満が55人（64.7%）、35歳以上は30人（35.3%）  
 早産期の胎児機能不全では35歳未満が41人（56.2%）、35歳以上は32人（43.8%）だった。

n=196（母体）

要請理由	母体年齢						合計
	20歳未満	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上	
常位胎盤早期剥離	1	4	19	31	25	5	85
早産期の胎児機能不全		2	15	24	25	7	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全				3	2	1	6
正期産の胎児機能不全		3	5	3	3		14
その他（4）・無記入		1	3	7	5	2	18
合計	1	10	42	68	60	15	196



- 要請理由別 母の年齢の最小値・最大値・平均値

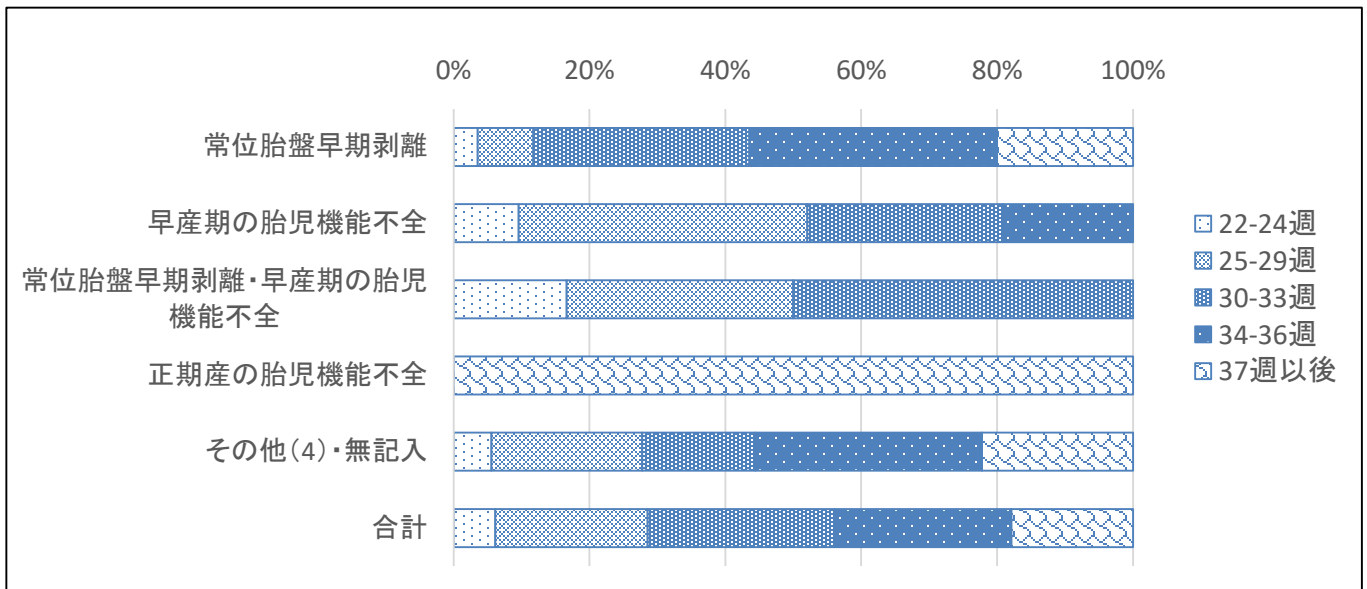
要請理由	母体年齢		
	最小値	最大値	平均値
常位胎盤早期剥離	19	43	32.28
早産期の胎児機能不全	20	43	33.27
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	31	40	35.00
その他・無記入	22	42	31.63
合計	19	43	32.63

## 5 妊娠週数

- 全体では30-33週が54人（27.6%）と最も多く、37週未満が161人（82.1%）  
 常位胎盤早期剥離は34-36週が31人（36.5%）、37週未満は68人（80.0%）  
 早産期の胎児機能不全では25-29週が31人（42.5%）、34週未満が59人（80.8%）だった。

n=196（母体）

要請理由	妊娠週数	22-24週	25-29週	30-33週	34-36週	37週以後	合計
常位胎盤早期剥離		3	7	27	31	17	85
早産期の胎児機能不全		7	31	21	14		73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2	3			6
正産期の胎児機能不全						14	14
その他（4）・無記入		1	4	3	6	4	18
合計		12	44	54	51	35	196



- 要請理由別 妊娠週数の最小値・最大値・平均値

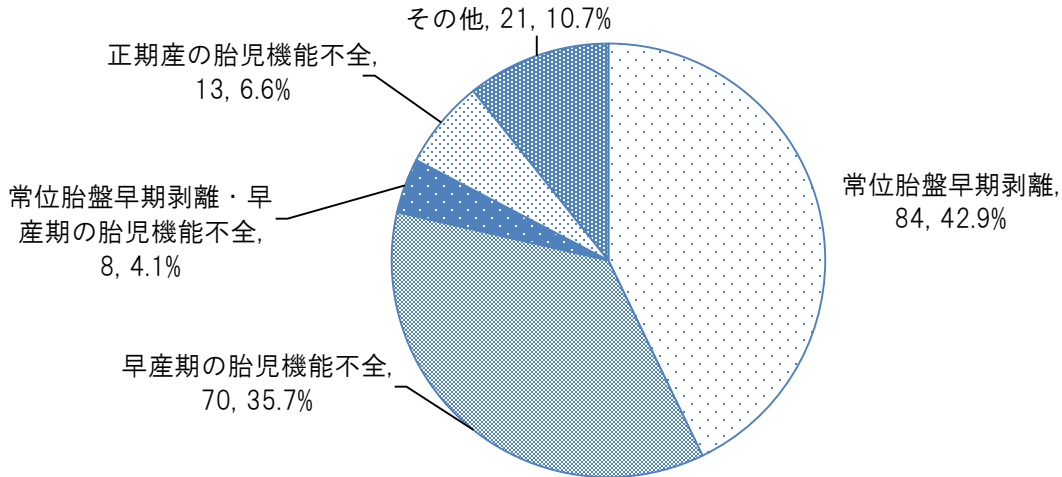
要請理由	妊娠週数	最小値	最大値	平均値
常位胎盤早期剥離		22	40	33.51
早産期の胎児機能不全		22	36	29.48
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		24	32	29.00
その他・無記入		23	42	35.44
合計		22	42	32.18

## 6 病着後の診断名

- 搬送受入れ後の診断名は常位胎盤早期剥離が84件（42.9%）、早産期の胎児機能不全が70件（35.7%）であった。
- その他は21件（10.7%）で、子宮内胎児死亡、一過性胎児除脈、胎動減少、足位の陣発（早産期）・排臨、切迫早産、前期破水・臍帯下垂（骨盤位）などであった。

n=196（母体）

病着後の診断名



## ○ 要請理由別 病着後の診断名

要請理由	病着後の診断名	常位胎盤早期剥離	早産期の胎児機能不全	常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	正期産の胎児機能不全	その他	データ数
常位胎盤早期剥離		76	3	2		4	85
早産期の胎児機能不全		1	63	1		8	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1		4		1	6
正期産の胎児機能不全				1	12	1	14
その他(4)・無記入		6	4		1	7	18
合計		84	70	8	13	21	196

## 7 病着まで（要請から病着まで）

- 搬送要請時刻と病着時刻が分かっているのは164件であった。
- 164件の病着までの時間の平均は約55分であった。
- 164件の病着までの時間の最小値は8分、最大値は3時間48分であった。

## ○ 要請理由別 要請から病着までの時間

要請理由	要請から病着までの時間	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	不明	データ数
常位胎盤早期剥離		13	40	17	5	1	9	85
早産期の胎児機能不全		4	27	16	4	4	18	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	4	1	0	0	0	6
正期産の胎児機能不全		1	9	2	0	0	2	14
その他(4)・無記入		1	6	5	2	1	3	18
合計		20	86	41	11	6	32	196

○ 要請理由別 要請から病着までの時間の最小値・最大値・平均値

要請理由	病着までの時間		最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離			17分	3時間48分	52分	76
早産期の胎児機能不全			13分	3時間30分	1時間	55
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全			22分	1時間	40分	6
その他・無記入			8分	2時間5分	57分	27
総数			8分	3時間48分	55分	164

8-1 分娩まで（要請から分娩まで）

- 搬送要請時刻と分娩時刻が分かっている164件中、搬送要請から24時間以内に分娩となったのは149件であった。
- 149件の分娩までの時間の最小値は33分、最大値は19時間39分であった。

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間

要請理由	要請から分娩までの時間						(再) 24時間以上	不明等	妊娠継続	データ数
	1時間未満	1時間～1時間 30分未満	1時間30分～ 2時間未満	2時間～6時間 未満	6時間以上					
常位胎盤早期剥離	10	28	9	24	6	3	5	3	85	
早産期の胎児機能不全	2	3	3	27	15	10	14	9	73	
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	0	2	3	0	0	0	0	1	6	
正産期の胎児機能不全	3	5	0	5	1	0	0	0	14	
その他(4)・無記入	1	1	4	8	4	2	2	0	20	
合計	16	39	19	64	26	15	21	13	198	

○ 要請理由別 要請から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値

要請理由	分娩までの時間		最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離			41分	242時間26分	6時間39分	77
早産期の胎児機能不全			55分	313時間44分	33時間32分	50
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全			1時間26分	1時間57分	1時間37分	5
その他・無記入			33分	117時間57分	7時間13分	32
総数			33分	313時間44分	14時間48分	164

## 8-2 分娩まで（病着から分娩まで）

病着後の診断名	病着から分娩までの時間						不明	妊娠継続	データ数
	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上				
常位胎盤早期剥離	32	18	10	0	16	6	2	76	
胎児機能不全	8	11	8	5	34	9	8	66	
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全	2	3	0	1	1	1	0	7	
その他・無記入	1	1	1	1	8	8	3	12	
合計	43	33	19	7	59	24	13	161	

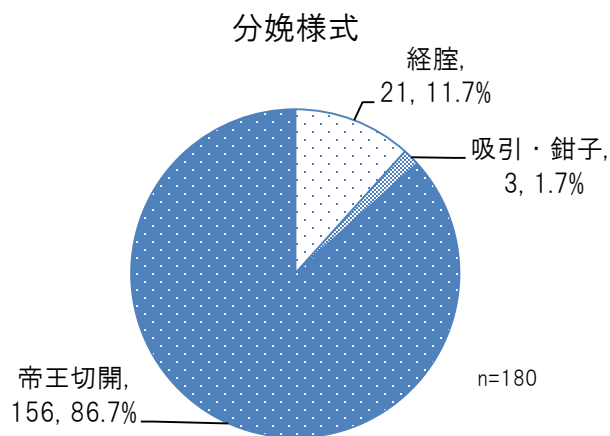
○ 病着後の診断名別 病着から分娩までの時間の最小値・最大値・平均値

病着後の診断名	分娩までの時間	最小値	最大値	平均値	データ数
常位胎盤早期剥離		9分	242時間6分	5時間51分	76
胎児機能不全		4分	312時間19分	24時間2分	66
常位胎盤早期剥離・胎児機能不全		10分	3時間25分	1時間7分	7
その他・無記入		23分	128時間4分	21時間35分	12
総数		4分	312時間19分	14時間16分	161

## 9 分娩様式

- 分娩様式は86.7%が帝王切開であった。
- 経膣分娩のうち、死産が5件（内1件は子宮内胎児死亡）であった。

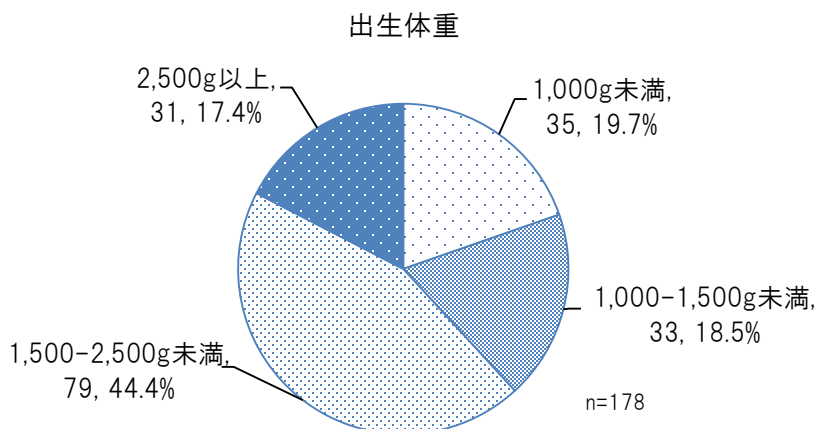
分娩様式	件数
経膣	21
吸引・鉗子	3
帝王切開	156
-妊娠継続	13
-母転院	1
-不明	4



## 10 出生体重

- 出生体重は267gから3,785gに分布していた。
- 出生体重の平均は1,804.19gであった。

出生体重	
最小	267
最大	3,785
平均	1,804.19





## 11 アプガースコア

- アプガースコアの判明している176人のうち、1分後4点未満は59人（33.5%）、4～6点は36人（20.5%）であった。
- 5分後のアプガースコアが判明している174人のうち、0～3点は23人（13.2%）であった。

	AP 1分後	AP 5分後
0～3点	59	23
4～6点	36	30
7点以上	81	121
死産	1	2
挿管	1	1
母転院	1	1
妊娠継続	13	13
不明	6	7

全体 AP5分後		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	死産	挿管	母転院	妊娠継続	不明	合計	
AP1分後	0	10	1	1	1														14
	1		2	4	3	3	6	2	1	2									23
	2			1			2	5	2	2	1								13
	3						1	4	2		2								9
	4						2	1	5	1	5								14
	5						1	2	3	2	4						1		13
	6							1	3	2	3								9
	7								1	6	6								13
	8								1	5	4	1							53
	9										9	6							15
	10																		0
死産													1						1
挿管														1					1
母転院															1				1
妊娠継続																13			13
不明																	6		6
合計		10	3	6	4	3	12	15	18	20	76	7	2	1	1	13	7		198

### ○ 要請理由別 アプガースコア

要請理由	AP1分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明等	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		25	12	42	3	3	85
早産期の胎児機能不全		23	16	20	5	9	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		3	1		1	1	6
その他・無記入		8	7	19			34
総数		59	36	81	9	13	198

要請理由	AP5分後	0～3点	4～6点	7点以上	不明等	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		8	9	62	3	3	85
早産期の胎児機能不全		10	14	33	7	9	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		1	2	1	1	1	6
その他・無記入		4	5	25			34
総数		23	30	121	11	13	198

## 12 臍帯動脈血pH

- 臍帯動脈血pHが不明の児及びIUFDの児を除いた出生児158人の臍帯動脈血pHは、6.571から7.520に分布していた。
- 平均は7.216であった。

臍帯動脈血PH	
最小	6.571
最大	7.520
平均	7.216
7.00未満	21
7.00～7.15未満	17
7.15～7.39未満	108
7.39以上	12
死産	7
妊娠継続	13
母転院	1
不明	19

- 要請理由別 臍帯血pH

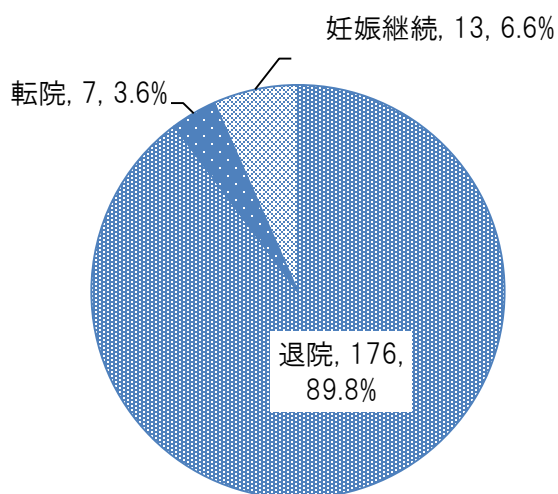
要請理由 \ 臍帯血pH	7.00未満	7.00～7.15未満	7.15～7.39未満	7.39以上	不明等	死産	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離	16	7	48	5	5	1	3	85
早産期の胎児機能不全	2	5	39	3	10	5	9	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全	1	2	2				1	6
その他・無記入	2	3	19	4	5	1		34
総数	21	17	108	12	20	7	13	198

### 13 母の転帰

○ 母の転帰は89.8%が退院であり、死亡したものはいなかった。

母の転帰

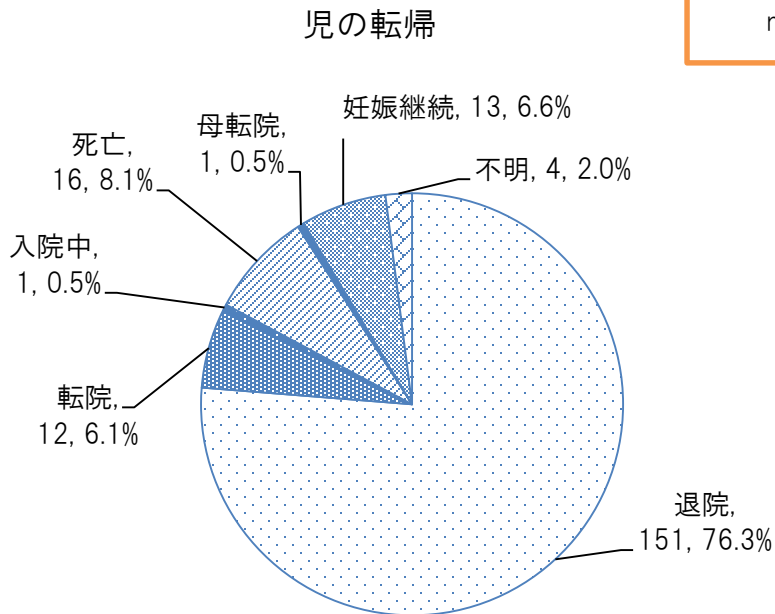
n=196 (母体)



要請理由	母の転帰	退院	転院	死亡	妊娠継続	合計
常位胎盤早期剥離		79	3		3	85
早産期の胎児機能不全		60	4		9	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		5			1	6
正期産の胎児機能不全		14				14
その他(4)・無記入		18				18
合計		176	7	0	13	196

## 14 児の転帰

- 児の転帰は退院が151人（76.3%）、転院が12人（6.1%）であった。
- 死亡した16人は、死産が9人、その他7人であった。



要請理由	児の転帰	退院	転院	入院中	死亡	母転院	妊娠継続	不明	合計
常位胎盤早期剥離		74	2		4		3	2	85
早産期の胎児機能不全		43	6	1	11	1	9	2	73
常位胎盤早期剥離・早産期の胎児機能不全		4	1				1		6
正期産の胎児機能不全		12	2						14
その他(4)・無記入		18	1		1				20
合計		151	12	1	16	1	13	4	198